

氏名	万代素子		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	乙第472号		
学位授与の日付	昭和46年9月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	僻地における潜在性蛋白質栄養失調幼児の生化学的摘発に関する研究		
論文審査委員	教授 水原舜爾	教授 小坂淳夫	教授 緒方正名

学位論文内容の要旨

わが国の僻地では今なお、幼児の蛋白質栄養失調症が subclinical の状態で残存し小児保健の上で問題を提示している。一方、諸外国にみられる kwashiorkor を中心とした蛋白質栄養失調症の研究が活発で、これの早期摘発の手段として血液あるいは尿中の蛋白質代謝産物の定量が取り挙げられている。

著者はわが国の僻地幼児についてもこの問題が検討されるならば、栄養失調症の摘発に有力な手がかりが与えられるかも知れないと考えた。そこで、岡山県北部の三山村地域の全幼児について、血液および尿中の蛋白質分解産物を測定し、対照群として選んだ岡山県西南部の一農村の成績と比較検討した。

その結果、血清中の尿素 N および α -アミノ N、尿滲透圧などはいずれも蛋白質摂取状況を反映して山村地域が低値であった。

ここにおいて、著者は血清あるいは尿中の蛋白質代謝産物の生化学的検索は地域における幼児の蛋白質摂取状況を把握する上に甚だ有効であるが、蛋白質栄養失調症の早期摘発の直接的手段としてはまだ問題が多いと指摘した。

(日本小児科学会雑誌 第75巻, 第3号 昭和46年3月に掲載)

論文審査の結果の要旨

本研究は、山村僻地における幼児の蛋白質栄養失調症の早期摘発手段を確立する目的で行った研究であり、僻地と対照地の幼児について食物、血清、尿につき種々の生化学的検査を行い、その結果、食物蛋白質量の少ない地方では血清アミノ窒素の著しい低下を来すこと、その他血清尿素、尿滲透圧、尿素窒素、アミノ窒素にも低下が見られることを証明したもので、小児の保健衛生上重要な知見を得た価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。